

【金沢区】令和2年第1回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和2年2月5日（水）15時00分～16時40分
場 所	金沢区役所 5階1号会議室
出席者	<p>【座 長】 高橋 のりみ 議員</p> <p>【議 員：4名】 黒川 勝 議員、竹野内 猛 議員、 谷田部 孝一 議員、小幡 正雄 議員</p> <p>【金沢区：31名】 國原 章弘 区長、栗原 敏也 副区長、 木村 博和 福祉保健センター長、 千田 満 福祉保健センター担当部長、 脇本 景 金沢土木事務所長、 伊藤 賢司 金沢消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	1 令和2年度 個性ある区づくり推進費予算案について
発 言 の 要 旨	<p>竹野内議員：横浜金沢観光協会の事務局長の専任化を行ったことの評価、今後の展望や期待について伺いたい。</p> <p>國原区長：観光客が多いなど金沢区の魅力があるところをもっと活かしていけると考えている。従来は任意団体だったが、まず今年度は事務局長の専任化によって責任を持って動ける体制を組んだ。来年度は一般社団法人化により、他都市の観光協会と同様に法人格を取得して、横須賀等の他都市やコンベンションビューローとも連携を進めていけると思う。</p> <p>竹野内議員：都市整備局の歴史的景観保全事業で、把握して活用していくよう国から指示もあり、来年度、調査があると聞いたが。</p> <p>國原区長：外観は保全しながら、建物の中を活用していく事業。金沢区内に該当施設があるかは確認していないので、都市整備局と連携しながら対応していきたい。</p>

竹野内議員：第4期子育て指針の策定に先立って実施した子育て実態調査の特色と主な結果について伺いたい。

鎌田こども家庭支援課長：乳幼児健診の対象者1389人から回答があり、回答率は52.8%だった。特色として、前回H26年度の調査では養育者1名からの回答としていたところ、今回は養育者2名としたため、父親の回答率が1.1%から23.8%に増えた。また、インターネットからも回答できるようにし、101名からの回答があった。

主な結果としては、子供とどう遊んでいいかわからないという父親が19.9%、母親が28.6%おり、子供と遊びに出かける場の1位はショッピングモールやスーパーで、父母ともに約8割を占めている。これは前回29.6%から大幅に増えている。育児情報の収集方法については、SNSや口コミが多く、自治会町内会からの情報が占める割合が、H22年度の50.9%から大きく減少している等となっている。

発言の
要旨

竹野内議員：この調査を受けてどのような取組を考えているか。

鎌田こども家庭支援課長：子育て支援拠点、育児教室等と協働して、外遊びキャンペーンを行っている。今後は多くの親子が利用する商業施設と協働の取組を考えなければと思っている。育児情報の収集等にインターネット利用が多いことが分かった。情報の配信の方法とともに、間違った情報もあるので、正しい情報が収集できる方法等の支援も考えていきたい。虐待につながるような孤立感等は、クロス集計後、調べていきたい。その結果を踏まえて地域や関係機関と一緒に取組を進めていきたい。

竹野内議員：次世代育成推進事業について、有意義な取組と思っている。課題等があれば伺いたい。

栗山学校連携・こども担当課長：昔に比べるとお子さんに触れる機会が少ないことを受けて、中、高、大学生等を対象に保育体験を行っている。現在のところ、順調に進められている。

竹野内議員：民生委員はなり手が不足していると聞く。充足率はどうか。

<p>発 言 の 要 旨</p>	<p>高橋福祉保健課長：金沢区は定員 280 名のうち、249 名で充足率は 88.61%、横浜市全体の充足率は 92.41%、18 区中 15 番目となっている。</p>
	<p>竹野内議員：充足率を上げるため、どのような取組を行ってきたのか。</p>
	<p>高橋福祉保健課長：広報よこはま金沢区版で特集を組んで PR した。推薦事務の中心となる自治会町内会長対象のチラシを作成した。自治会町内会を対象とした説明会を 4 回実施、説明会で出た質疑及びその回答は、後日、全ての自治会町内会に共有した。また、推薦書の提出が遅れている町内会には、個別に連絡して、改めて相談に乗るなど支援した。</p>
	<p>竹野内議員：今後は、どのように確保していくのか。</p>
	<p>高橋福祉保健課長：民生委員、児童委員の仕事は負担感があり、なり手が少ないと聞いている。来年度は活動しやすい環境づくりの一環として、高齢者等の見守りに活用できるマップを作成する。また、活動内容や必要性が十分に浸透していないと思われるため、まず状況を把握するため各地区の民児協定例会へ参加し、欠員の多い地区は、各地区連合の定例会に出向くなど、きめ細かいサポートを行なって充足率を上げていきたい。これから民生委員になる方、現に民生委員の方、双方のサポートに引き続き努めていく。</p>
	<p>竹野内議員：宮川の河川改修と泥亀釜利谷線の工事について、進捗状況を伺いたい。</p>
	<p>脇本土木事務所長：宮川の河川改修について、具体的なスケジュールは不明だが、3～4 年はかかると思われる。泥亀釜利谷線の工事については、用地買収を 1 件行なった。引き続き用地交渉を進めていると聞いている。</p>
	<p>竹野内議員：交差点改良について、金沢区では釜利谷東小学校で改修を行なったのは確認しているが、他に金沢区内で何か所くらいあるのか。</p>
<p>脇本土木事務所長：事故が多発する場所として釜利谷交差点があがっており、手続きが進んでいる。保育園そばのガードレールの延伸も考えている。</p>	

地元からの要望が出ている場所もあり、優先順位をつけて進めている。

竹野内議員：かたぶき人道橋の工事が長引いており、地元より不安の声が上がっている。原因はオリンピックの影響による入札不調とのことでやむを得ないと思うが、丁寧に情報提供して不安解消に努めてほしい。

黒川議員：平潟湾クリーンアップキャンペーンについて、説明資料に参加団体の記載があるが、釣り船店については協力してもらえないのか。

釣り船店のみなさんからは平潟湾浚渫の要望が出ている。要望を聞くとともに積極的にボランティア活動に協力してもらえよう働きかけをしてもらうべきではないか。また、瀬戸神社はどうか。

石和田金沢事務所長：釣り船店には、ご協力いただけていないが、瀬戸神社には、集合場所として場所を提供してもらっている。なお、説明資料には、実際にごみを拾いながら歩いていただく団体のみを記載している。

発 言 の
要 旨

黒川議員：観光協会の財務に関して、観光に関わる企業には、資金面でももっと協力してもらえようようにしてもらってはどうか。

城石地域振興課長：観光協会の会員数は200社・者ほど。会費は一口1万円で、二口以上は任意。広報誌での協力はもらっていることは多いが、現状では大企業でもほぼ一口に収まっている。観光の振興は企業にも利益があるため、観光協会とともに検討していければと思う。

黒川議員：育児休暇が定着して、親と子のつどいの広場や、地域子育て支援拠点への参加が増えているのでは。件数などを把握しているか。

鎌田こども家庭支援課長：地域子育て支援拠点は一日50組、親と子の集いの広場は7～8組程度で、横這いか若干減と思う。子供の数が減少しているのと、金沢区はサロンが充実していることもあると考えられる。

黒川議員：拠点を活用しているお母さんからは、子育てが楽しくなることで、もう一人産もうかという声も聞く。子育てが楽しいことが人口の自然増につながると思う。区として、どのような工夫を考えているか。

<p>発言の 要旨</p>	<p>國原区長：他区に比べて、自主企画事業の3本目の柱「すくすく育て！かなざわっこ」の事業については、手厚くなっていると思う。今年度、子育て応援リーダーを設置し、各施設との連携等、非常によく進めてくれている。今後も重点的に取り組んでいきたい。</p> <p>黒川議員：現在、コロナウイルスに感染している方を、市内の病院で対応していると思うが、市大病院の感染症病棟はこういった時に、こういった機能を持つのか、風評被害対策はあるのか。</p> <p>高橋福祉保健課長：市大病院は結核病床はあるが、感染病床はない。第1種、第2種の感染病床は市民病院にあり、市民病院での対応が基本となる。</p> <p>黒川議員：コロナウイルスの患者は、市大病院には搬送されないと考えてよいのか。</p> <p>木村福祉保健センター長：現在のところ市民病院が対応しているが、今後については不確定要素が多く、市民病院以外の市内の病院に協力依頼せざるを得ない場合も考えられる。その場合には、市大病院が候補となる可能性はあるが、現状、具体的には決まっていない。どちらにせよ、そのような状況になった場合には、市民に不安を抱かれないよう、また感染の危険が生じないように、対策を取りながら進めることになる。</p> <p>黒川議員：健康ウォーキング事業は手法を変えて、課題等は出てきたか。</p> <p>高橋福祉保健課長：今年度は保健活動推進員の一斉改選があり、地区会長の変更等で、ウォーキングの開催が難しい地区も出てきた。実績としては、12月末現在で16回、207人が参加している。このうち新規開催の支援が3地区あった。残り5回あるため、支援していく。</p> <p>課題としては、膝痛、腰痛をもった高齢者も多く参加が困難、男性の参加者が少ない、働き世代は平日日中は参加できない、などがある。また、区内7か所の健康づくり公園の周知をはかる必要がある。</p> <p>黒川議員：令和2年度の新しい取組があれば教えてほしい。</p>
-------------------	---

発言の
要旨

高橋福祉保健課長：健康遊具ミニ講座の開催、オリジナル歩数記録表の作成を考えている。健康遊具ミニ講座は、一般区民向けに、健康づくり公園にある遊具の使用方法を周知するとともに、膝痛等がある方でも安心してゆっくり歩ける公園内のコースを紹介する。オリジナル歩数記録表は、働き世代の男性が普段の通勤等でウォーキングに取り組めるよう、区内の駅間距離や歩数記録、ウォーキング効果等の情報を記載する。普及方法として地域ケアプラザ等での配布や、区のホームページやツイッターなど広報媒体を利用して周知していく。

黒川議員：市のウォーキングポイント事業との連携をすべきではないか。

高橋福祉保健課長：金沢区内では、アプリと歩数計あわせると2万人。ウォーキングポイント事業とのタイアップも考えていきたい。

黒川議員：高齢者の健康づくりで、考えているものがあれば伺いたい。

大島高齢・障害支援課長：可能な範囲で運動を行なってもらうのが重要。高齢者が自主的に取り組む、元気づくりステーションを推進している。区内に24か所設置を完了した。地域の特徴や参加者の人数等に応じて高齢・障害支援課の保健師がプログラムの助言等を行っている。

黒川議員：24か所とはどういった場所か。

大島高齢・障害支援課長：自治会町内会館、学校の地域交流室、団地の集会所、ケアプラザ等。

國原区長：元気づくりステーションは局の配付予算で行っている事業で、5年前は10か所程度しか設置されていなかった。最初は体操が多かったが、最近は健康マージャンが流行っており、会話しながら手を動かすので良いが、体は動かさない。高齢・障害支援課では、休憩時に体操を入れるなど頭も体も動かすような指導を行なっている。引き続き、立ち上げの支援を積極的に行っていく。

発言の
要旨

黒川議員：災害時要援護者が掲げる旗について、地域によってそれぞれ違うようだが、統一したほうがいいのではないか。

大島高齢・障害支援課長：区としては、要援護者が避難する際のサポートグッズとして自治会町内会へぼたんちゃんの旗を配付しているが、地区によってニーズや運用方法が異なり、一律とはしていない。

國原区長：当初は要援護者のみに、ぼたんちゃんの旗を配布し始めたが、全世帯に配布したいという地区も出てきて、その対応は難しい。要援護者のみの地区については、引き続き予算が許す限り作成し配布していく。

黒川議員：区心部のまちづくりについては、ワークショップ等を行っているようだが、京急やURなどはどのように関わっているのか。

八谷区政推進課長：まちづくり懇談会を2月3日に開催した。座長を横浜市大の教授とし、土地の地権者である横浜財務事務所、UR、京急のご担当、関連する4つの連合町内会長に出席してもらい、意見聴取した。こちらと連携し、情報交換しながら、まちづくり構想を策定していきたい。

黒川議員：ただマンション建設されるだけでは困るので、区心部の賑わいを感じられるよう、区からも要望してもらいたい。にぎわいに資する場合には容積率を緩和するなど、お互いにWin-Winの関係で、いいまちづくりができるよう進めてほしい。

國原区長：中、長期の視点を持ちながら土地利用について議論していく。

黒川議員：ブランチ横浜ができて、地域の商業施設には影響出ているのか。

城石地域振興課長：区内の商業施設からまだ話は出てきていない。

黒川議員：商店街連合会からは影響が出ていると聞いている。富岡や並木など地元の買い物客が通っているようだ。当初は、八景島、ベイサイドマリーナ、そしてブランチ横浜が観光商業施設として連携して、羽田空港利用の観光客等も誘致するコンセプトだった。実際はテナントも埋まってい

<p>発 言 の 要 旨</p>	<p>ないようで、コンセプトもターゲットも違ってきている。区からもブラン チ横浜が当初のコンセプトどおり発展するよう要望をしていってほしい。</p> <p>小幡議員：平潟湾の浚渫を行なってくれるよう環境創造局には何度も要望 している。区からも要望してほしい。区提案反映制度の対応となっている ものについて、局事業のどの部分に反映されているかわからないため、後 日、資料を提出してほしい。</p> <p>区の花・ぼたんPR事業について、牡丹の花は維持管理が難しい。専門 家に育ててもらえるのか。</p> <p>八谷区政推進課長：牡丹の苗は、区内の公園愛護会に配布する。公園愛護 会は普段から公園の草花を育てており知識や経験がある。また、ぼたんの 育成に詳しい方から講習もしてもらおう。今年度は、先行して手が上がった 17公園愛護会に配布している。</p> <p>小幡議員：ハザードマップの進捗について伺いたい。</p> <p>富士田総務課長：来年度は総務局で作成する。現在の情報は、整理を進め ている。</p> <p>小幡議員：去年は台風など様々な災害があった。新しい良いものを期待し ているので、区としても要望を上げてほしい。</p> <p>谷田部議員：ハザードマップは、局で作成するのもあるだろうが、金沢区 の津波、高潮等は別々に作成するのか。</p> <p>富士田総務課長：ハザードマップについては、いろいろな情報が入りすぎ てしまうと、見にくくなってしまうので、災害ごとに作成する。</p> <p>谷田部議員：将来的には全戸配布するのか。</p> <p>富士田総務課長：必要な方に配布しており、全戸配布は考えていない。</p> <p>谷田部議員：避難場所の周知徹底など含めて検討した方が良いのでは。</p>
----------------------	--

発言の 要旨	<p>富士田総務課長：そのようなことも必要になってくるかもしれないので、予算などを考えながら進めていきたい。</p> <p>高橋議員：区役所の前の歩道橋は現在使用しておらず、京急開発も何年も先になると聞いている。野ざらしだと危ない。区からも、国交省に撤去してくれるよう要望してほしい。また、国道の六浦歩道橋の塗り替え更新も働きかけてほしい。</p> <p>また、金沢八景駅前のバス停について、せっかく駅のロータリーができたのに、国道16号線沿いで降車しており、渋滞の原因になっている。八景駅が終点のバスは、ロータリー内で降ろせないのか。</p> <p>河合土木事務所副所長：警察署前の国道歩道橋の撤去については、働きかけ協議の佳境にあるが、交通管理者との意見調整と住民の総意・合意について、決着がついていない。他の歩道橋の点検・補修については予定する旨、口頭回答を得ている。バス事業者を確認したところ、利用者は従来と同じような場所が良いと意見があったため、今の形態となっているようだ。</p>
-----------	---